

安全データシート

(Safety Data Sheet)

改訂日: 2023 年 2 月 24 日 (第4版)

識別記号 : MTEA-J

1. 製品名および会社情報

製品名 : MycoJudge トータルアフラトキシン
会社情報 : 日本ハム株式会社 / NH Foods Ltd.
大阪市北区梅田二丁目 4 番 9 号 プリーゼタワー
連絡先 : 日本ハム株式会社 中央研究所 ヘルスサポート課
茨城県つくば市緑ヶ原三丁目 3 番地 TEL:029-847-7825 / FAX:029-847-7824
推奨用途 : 試験研究用
使用上の制限 : 上記用途以外には使用しない

2. 危険有害性の要約

(1) 硫酸 ※本 SDS 上では、2.5%硫酸として記載

GHS 分類 : 皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 2 呼吸器系
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分 2 呼吸器系

GHS ラベル :



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : H315 - 皮膚刺激
H318 - 重篤な眼の損傷
H371 - 臓器の障害のおそれ: 呼吸器系
H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ: 呼吸器系

注意書き(安全対策) :

- ・ 取扱い後は顔や手などをよく洗うこと。
- ・ 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

注意書き(応急措置) :

- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
- ・ 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ ただちに医師に連絡すること。
- ・ 皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗うこと。
- ・ 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- ・ 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
- ・ 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。

注意書き(保管) : 施錠して保管すること。

注意書き(廃棄) : 内容物/容器を都道府県又は市区町村の規則に従って廃棄すること。

その他 : ほかの危険有害性 : 情報なし

(2) メタノール ※本 SDS 上では、99.7%メタノールとして記載

GHS 分類 : 引火性液体 : 区分 2
急性毒性(経口) : 区分 4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2A
生殖毒性 : 区分 1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 1, 区分 3

区分1 中枢神経系, 視覚器, 全身毒性
区分3 麻酔作用
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1 中枢神経系, 視覚器

GHS ラベル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H225 - 引火性の高い液体及び蒸気
H319 - 強い眼刺激
H302 - 飲み込むと有害
H360 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H336 - 眠気又はめまいのおそれ
H370 - 臓器の障害: 中枢神経系, 視覚器, 全身毒性
H372 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害: 中枢神経系、視覚器

注意書き(安全対策) :

- ・ 使用前に取扱説明書入手すること。
- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。
- ・ 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚をよく洗うこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 容器を接地しアースを取ること。
- ・ 防爆型の電気/換気/照明/機器を使用すること。
- ・ 火花を発生させない工具を使用すること。
- ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

注意書き(応急措置) :

- ・ ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- ・ 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- ・ 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。
- ・ 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・ 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・ 口をすすぐこと。
- ・ 火災の場合: 消火するために二酸化炭素、粉末消火剤、フォームを使用すること。
- ・ 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。

注意書き(保管) :

- ・ 施錠して保管すること。
- ・ 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・ 容器を密閉しておくこと。

注意書き(廃棄) : 内容物/容器を承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他 : ほかの危険有害性 : 情報なし

3. 組成および成分情報

(1) 硫酸

化学物質・混合物の区別 化学物質
含有量 : 2.45%(反応停止液 12mL 中)
英名 : Sulfuric Acid

化学式 : H_2SO_4
分子量 : 98.08
化審法官報公示番号 : (1)-430
安衛法官報公示番号 : 公表
CAS 番号 : 7664-93-9

(2)メタノール

化学物質・混合物の区別 各標準溶液 : 混合物
抗体希釈液 : 混合物
含有量 : 70% (各標準溶液 1mL 中)
22% (抗体希釈液 30mL 中)
英名 : Methanol
化学式 : CH_3OH
分子量 : 32.04
化審法官報公示番号 : (2)-201
安衛法官報公示番号 : 公表
CAS 番号 : 67-56-1

4. 応急措置

(1)硫酸

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合 : すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合 : 眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 個人用保護具を着用すること。

(2)メタノール

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合 : すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合 : 眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

(1)硫酸

適切な消火剤 : 現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。
使ってはならない消火剤 : 利用可能な情報はない
火災時の特有危険有害性 : 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
特有の消火方法 : 利用可能な情報はない
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

(2)メタノール

適切な消火剤 : 水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO₂)、泡、粉末消火剤、砂
使ってはならない消火剤 : 利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性：	熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。蒸気は空気と爆発的混合物を形成することがある。
特有の消火方法：	利用可能な情報はない
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置：	個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

(1) 硫酸

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項：

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和：

利用可能な情報はない

二次災害の防止策：

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

(2) メタノール

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項：

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和：

利用可能な情報はない

二次災害の防止策：

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

(1) 硫酸

取り扱い

技術的対策： アルカリ性物質との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項： 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようこし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んで서는ならない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項： 皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管

安全な保管条件

保管条件： 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料 :	ポリエチレン
混触禁止物質 :	アルカリ性物質
(2)メタノール	
取り扱い	
技術的対策 :	火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。
注意事項 :	容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
安全取扱注意事項 :	静電気放電(有機物の蒸気を引火させうる)を避けるために必要な措置をとる。個人用保護具を着用すること。皮膚、眼、衣服との接触を避ける。
保管	
安全な保管条件	
保管条件 :	直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。施錠して保管。
安全な容器包装材料 :	ガラス
混触禁止物質 :	強酸化剤

8. ばく露防止および保護措置

(1)硫酸

設備対策 :	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
ばく露限界 :	日本産業衛生学会 1 mg/m ³ 管理濃度 作業環境評価基準 N/A 米国産業衛生専門家会議 (ACGIH) TWA 0.2 mg/m ³
保護具 :	呼吸器用保護具 酸性ガス用防毒マスク 手の保護具 不浸透性保護手袋 眼の保護具 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡) 皮膚及び身体の保護具 長袖作業衣
適切な衛生対策 :	産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

(2)メタノール

設備対策 :	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
ばく露限界 :	日本産業衛生学会 200ppm(260 mg/m ³) 管理濃度 作業環境評価基準 200ppm 米国産業衛生専門家会議(ACGIH) TWA 200ppm(260 mg/m ³), STEL 250ppm
保護具 :	呼吸器用保護具 有機ガス用防毒マスク 手の保護具 不浸透性保護手袋 眼の保護具 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または前面保護眼鏡) 皮膚及び身体の保護具 長袖作業衣
適切な衛生対策 :	産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的および化学的性質

(1)硫酸

物理状態 :	色 無色 濁度 透明 性状 液体
--------	------------------------

臭い :	無臭
融点/凝固点 :	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲 :	データなし
可燃性 :	データなし
蒸発速度 :	データなし
燃焼性(固体、ガス) :	データなし
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界 :	上限:データなし 下限:データなし
引火点 :	データなし
自然発火点 :	データなし
分解温度 :	データなし
pH :	強酸性 pH=0.3
粘度(粘性率) :	データなし
動粘性率 :	データなし
溶解度 :	水, エタノール :混和する。
n-オクタノール/水分係数 :	データなし
蒸気圧 :	データなし
密度及び/又は相対密度 :	1.010
相対ガス密度 :	データなし
粒子特性 :	データなし

(2)メタノール

物理状態 :	色 無色 濁度 澄明 性状 液体
臭い :	特異臭
融点/凝固点 :	-98 °C
沸点又は初留点及び沸騰範囲 :	64°C
可燃性 :	引火性の高い液体や蒸気
蒸発速度 :	データなし
燃焼性(固体、ガス) :	データなし
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界 :	上限: 36.5 vol% 下限: 6.0 vol%
引火点 :	11°C
自然発火点 :	464°C
分解温度 :	データなし
pH :	データなし
粘度(粘性率) :	データなし
動粘性率 :	データなし
溶解度 :	水、エタノール、ジエチルエーテル、クロロホルム :極めて溶けやすい。
n-オクタノール/水分係数 :	-0.74
蒸気圧 :	データなし
密度及び/又は相対密度 :	0.789-0.792 g/mL

度 :
相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性および反応性

(1) 硫酸

安定性 : 反応性 : データなし
化学的安定性 : 推奨保管条件下で安定。
危険有害反応可能性 : 通常の処理ではなし。
避けるべき条件 : 高温と直射日光
混触危険物質 : アルカリ性物質
危険有害な分解生成物 : 硫黄酸化物(SO_x)

(2) メタノール

安定性 : 反応性 : データなし
化学的安定性 : 光により変質するおそれがある。
危険有害反応可能性 : 通常の処理ではなし。
避けるべき条件 : 高温と直射日光, 熱、炎、火花、静電気、スパーク
混触危険物質 : 強酸化剤
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素(CO₂)

11. 有害性情報

(1) 硫酸

急性毒性

経口 LD50 : 2,140 mg/kg (rat)
経皮 LD50 : N/A
吸入 LC50 : 347 ppm (rat) 4h
分類根拠(経口) : NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(経皮) : NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(吸入-ガス) : NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(吸入-蒸気) : NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(吸入-粉塵) : NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(吸入毒性-ミスト) : NITE の GHS 分類に基づく。

皮膚腐食性/刺激性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

呼吸器感受性又は皮膚感受性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

生殖細胞変異原性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

発がん性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

IARC : Group 1

米国産業衛生専門家会 A2

議 (ACGIH) :

生殖毒性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
 分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。
 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
 分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

誤えん有害性
 分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

(2)メタノール

急性毒性

経口 LD50 : 1,400 mg/kg (human)
 経皮 LD50 : 15,800 mg/kg (rabbit)
 吸入 LC50 : 22,500ppm (rat) 4h (vapor)
 分類根拠(経口) : NITE の GHS 分類に基づく。
 分類根拠(経皮) : NITE の GHS 分類に基づく。
 分類根拠(吸入-ガス) : NITE の GHS 分類に基づく。
 分類根拠(吸入-蒸気) : NITE の GHS 分類に基づく。
 分類根拠(吸入-粉塵) : NITE の GHS 分類に基づく。
 分類根拠(吸入毒性-ミス
ト) : NITE の GHS 分類に基づく。

皮膚腐食性及／刺激性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

生殖細胞変異原性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

発がん性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

生殖毒性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

誤えん有害性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

12. 環境影響情報

(1)硫酸

生態毒性

藻類 /水生植物 : N/A
 魚 : LC50 : *Lepomis macrochirus* 16-28 mg/L 96 h
 甲殻類 : LC50 : *Daphnia magna* 29 mg/L 24 h

水生環境有害性

分類根拠（短期（急性））：	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠（長期（慢性））：	NITE の GHS 分類に基づく。
残留性・分解性	利用可能な情報はない
生体蓄積性	利用可能な情報はない
土壤中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	利用可能な情報はない

(2) メタノール

生態毒性	
藻類 / 水生植物：	EC50 : <i>Chlorella</i> 1,000 mg/L 96 h
魚：	LC50 : <i>Bluegills</i> 15,400 mg/L 96 h
甲殻類：	LC50 : <i>Brown shrimp</i> 1,340 mg/L 96 h
水生環境有害性	
分類根拠（急性）：	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠（慢性）：	NITE の GHS 分類に基づく。
残留性・分解性	利用可能な情報はない
生体蓄積性	利用可能な情報はない
土壤中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

(1) 硫酸

残余廃棄物：	廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
汚染容器および包装：	廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

(2) メタノール

残余廃棄物：	廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
汚染容器および包装：	廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

(1) 硫酸

ADR/RID（陸上）	
国連番号：	UN2796
品名：	硫酸
国連分類：	8
副次危険性：	
容器等級：	II
海洋汚染物質：	非該当

IMDG（海上）	
国連番号：	UN2796
品名：	硫酸
国連分類：	8
副次危険性：	
容器等級：	II
海洋汚染物質：	非該当

MARPOL73/78 利用可能な情報はない
やIBCコードに
則ったバルクの
輸送

IATA (航空)

国連番号 : UN2796
品名 : 硫酸
国連分類 : 8
副次危険性 :
容器等級 : II
環境有害物質 : 非該当

(2)メタノール

ADR/RID (陸上)

国連番号 : UN1230
品名 : メタノール
国連分類 : 3
副次危険性 : 6.1
容器等級 : II
海洋汚染物質 : 非該当

IMDG (海上)

国連番号 : UN1230
品名 : メタノール
国連分類 : 3
副次危険性 : 6.1
容器等級 : II
海洋汚染物質 : 非該当
MARPOL73/78 利用可能な情報はない
やIBCコードに
則ったバルクの
輸送

IATA (航空)

国連番号 : UN1230
品名 : メタノール
国連分類 : 3
副次危険性 : 6.1
容器等級 : II
環境有害物質 : 非該当

15. 適用法令

(1)硫酸

国際インベントリー

EINECS/ELINCS : -
TSCA : -

国内法規

消防法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : ・ 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条、施行令第18条)

	・ 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)No. 613
	・ 特定化学物質第3類物質（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第6号）
危険物船舶運送及び貯蔵規則：	腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法：	腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
海洋汚染防止法：	施行令別表第1 有害液体物質 Y 類物質
化学物質排出把握管理促進法：	非該当
水質汚濁防止法	指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)
輸出貿易管理令：	非該当
大気汚染防止法：	特定物質

(2)メタノール

国際インベントリー

EINECS/ELINCS：	収載
TSCA：	収載

国内法規

消防法：	危険物第四類 アルコール類 危険等級Ⅱ 水溶性
毒物及び劇物取締法：	非該当
労働安全衛生法：	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条、施行令第18条) ・ 第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号) ・ 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)No.560 ・ 作業環境評価基準(法第65条の2第1項) ・ 危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)
化審法：	優先評価化学物質(法第2条第5項)
危険物船舶運送及び貯蔵規則：	引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法：	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)
海洋汚染防止法：	施行令別表第1 有害液体物質 Y 類物質
化学物質排出把握管理促進法：	非該当
輸出貿易管理令：	非該当
大気汚染防止法：	特定物質

16. その他情報

引用文献および参照ホームページ等

- ・ NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
- ・ IATA 危険物規則書
- ・ RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
- ・ 中央労働災害防止協会 GHS モデル SDS 情報
- ・ 有機合成化学辞典(社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
- ・ 化学大辞典 共立出版
等

免責事項

- ・ この SDS は JIS Z 7253:2019 に準拠しております。
- ・ 本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載したものであり、品質保証書、規格書ではありません。
- ・ 記載内容は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。
- ・ 改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。

-
- ・ 安全な取扱い等に関する情報提供を目的とした参考資料であり、物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。
 - ・ 全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取扱いには十分ご注意ください。